

で参加しなければ。(わかる人だけわかって下さい)

オンラインゲーム絶頂期。片っ端から手を出していく。自分の部屋でネットができるため23時に帰宅したあと飯や風呂を済ませ、4時頃までネットゲーをやる生活が続く。7時半には起きて出社の準備をしなければ。。

3年目。ゴールデンウィークを利用してパラサイトシングル脱出。大阪日本橋に徒歩5～10分という場所へ引っ越してみる。会社へは自転車で20分、すげえ！朝起きる時間が遅くなるだけでなく夜早く帰れるというメリットはかなり大きい。寮生活

の本領発揮。寮生活は高専の中で一番役に立つ経験でした。感謝。会社の方では年間1500円とかいう社員でもびっくりする値段のサービスを提供開始。桁外れに忙しくなる。会社のホームページに月5000円とか払ってるところ無いですか？さくらインターネットです。

よろしくお願いします。(宣伝)

高専を卒業して3年半。親からの仕送りとか無しで一人暮らし頑張ってます。学校の成績がクラス40人中35～30位とかいう下の下で、10月になっても就職決まっていなかった自分でもなんとかやっていけるぽいです。

同窓会助成事業

舞鶴高専のロボコンの内側から

電子制御工学科教員 町田 秀 和

同窓会からロボコン向けの助成をいただき、たいへんありがとうございます。本年度からの独立行政法人化においても、その中期計画で高専のアピールの場としてロボコンはこれからも重視していくということになっており、多くのご支援ご関心をいただいています。

わが舞鶴高専のロボコンチームはユニークなマシンで、様々な成果をあげてきています。これまでの歴史についてはホームページ (<http://machidapc.maizuru-ct.ac.jp/sken/common/index.html>) をご参照ください。特に昨年度はBチームが「拍手鶴采」というユニークなマシンで、久しぶりに近畿地区優勝(および特別賞(HONDA))、そして全国大会ベスト8の結果を残すことができました。多くのご観戦、そして「励みになった」という喜びのメッセージをいただいて、大変うれしく感じています。筆者は一昨年度から小西経男先生から指導教官を引き継ぎ、初めて両国国技館の全国大会に引率し大変感銘を受けました。全国各地を勝ち上がってきたレベルの高いロボットたち

をまじかに見られたということの他に、控部屋のピットの雰囲気、そして行司部屋での指導教官会議、そしてなんととっても観客の多さと熱気に圧倒されました。ここでは、その後の経過をご紹介しますことによって、舞鶴高専のロボコンに内側をご紹介します。

昨年度全国大会終了後、12月11日(金)に前学生主事の川勝先生のコーディネートで、西舞鶴の明倫小学校の道徳の時間「心の先生」に出前講座を行いました。体育館において全校児童とその保護者の前でデモ走行を行い「オーッ」という大きな歓声をもらい、関心の高さが伺えました。また、テレビで映った選手はヒーローに感じられたようです。<http://machidapc.maizuru-ct.ac.jp/sken/record/meirin/meirinsyou.htm>

12月/22日(月)には、ロボコン関係のクリスマスパーティを行いました。市内のケーキ屋さんに特注したケーキで祝い、テレビ放送録画を上映し、わきあいあいと2003年を締めくくりました。

そして、2月/10日(火)には、ロボコン選手の学

内表彰が行われました。受賞理由は、【学生表彰】課外活動(ロ)の全国大会又はこれに準ずる大会において優勝又は準優勝とならなかったが、本校の価値を高めた、として表彰されました。各選手の功績は次のとおりです。

- ・4S 藤井崇史君：リーダーとして強力な統率力を発揮し、ロボットを完成させた。
- ・5S 倉野一俊君：電子回路系を地道に調査研究し、完璧な動作を実現した。
- ・4S 東小路雅彦君：独創的なアイデアを考案し、素晴らしい生き物のような動きを実現した。

また、2003年度中は神戸でロボコン関係の学生の全国交流会が開催され、本校からもかなりの学生が参加し、さまざまな情報を交換しあったとのこと。また、報告文をこの同窓会誌、および情報科学センター年報に寄稿しています。

明けて2004年度、やはり地区優勝/全国大会出場のテレビでの活躍場面に刺激されたのか、大変多くの新入部員が入ってきました。例年は、残念ながらきつい作業に辟易するのかあつという間に数人までに減少するのですが、本年度は数十人ががんばって残り、かなりの大所帯となっています。したがって、4月13日(金)の第1回ミーティングは教室にあふれんばかりの人数になりました。

4月24日(土)には、4名の学生が奈良高専からくり同好会のミニロボコンに参加しました。奈良高専も昨年度「デジかめダ〜」というマシンで地区大会準優勝、全国大会ベスト16およびアイデア賞を受賞している強豪ですが、一方でクラブ組織がしっかりしており、また独自サーバによるホームページ等の発信も盛んです。ミニロボコン自体は奈良高専制御応用実験室の実験機4台を使ったシンプルなフィールドで、独自ルールで行われましたが、うまく運営され、また大変ユニークなアイデアのロボットが多く、ロボコンの本質を見る思いがしました。なによりも、学生が主体となってルール運営を行うという自発性に感心しました。http://machidapc.maizuru-ct.ac.jp/sken/record/nara/nara_mini.html 舞鶴高専でもPBL(Program/Project Based Learning：学生が自発的に研究テーマを設定し、プレゼンテーションまで行う)の実現が検討されていますが、校内ミニロボコンはその一例として適当かもしれません。

4月25日(日)には、民間のレゴブロック教室「たま

らっく」様のお誘いで、兵庫県豊岡市但馬空港において「親子で触れるロボットフェスタin豊岡」に本校のアピールを目的として出張展示してきました。数百人の観客の前でデモ走行し、多くの歓声をいただきましたが、床の絨毯の走行抵抗が大きく、回路が焼けてしまい、途中からは手動デモとなってしまいました。観客の家族連れ、特に小学生の父親からは、こういうことができる高専にはぜひ進学を考えたいと複数のお話をいただき、関心の高さが伺えました。<http://web.maizuru-ct.ac.jp/control/machida/toyooka04/>

4月末には、本年度のロボコンの実施要綱およびルールが通知されました。テーマ名は「マーズ・ラッシュ」でオリンパス山山腹に置いてあるローバーボールを、自律制御のメッセージボール(マシン)で山頂までにいかに近づけるかを競うという内容でした。

5月9日(日)には、恒例の新入生歓迎焼肉大会が、舞鶴高専横のグリーンスポーツセンターで行われました。

そして、5月18日(火)には、3S教室において初のアイデア検討会が開催されました。この日までに入部したての1年生も含めた各学生が考えてきたアイデアを黒板に描いて紹介しあい、ブレインストーミング形式で評価しあいました。これまでの経験が大きかったのか、大変ルールを良く理解し、現実味のあるアイデアが見えてきました。結局、実際に地区大会優勝した近畿大学高専の基本アイデアとほぼ同じでした。そして、その後の議論を経て6/17(木)にまとまったアイデアが提出されました。

翌5/19(水)には恒例の機械加工安全講習会が開催されました。教室での注意事項の読み合わせの後、3班に分かれて実習工場にて解説が行われました。

夏休み中は合宿形式で必死の開発が進められますが、途中7月末のオープンカレッジ(体験入学)には、第二体育館にロボコンマシンを実演展示しています。また、電子制御工学科の半田付け体験学習「電子ホテル」にもアシスタントとしてロボコンの学生が中学生と触れ合い、あとのアンケートでも先輩と触れ合えて良い体験だったという感想をいただいています。

そして、夏休み明けの9月13日(金)に剣道場において、校内公開テストランが行われました。本年度は昨年度よりも完成度が低かったのですが学生は

懸命に解説し、観覧いただいた教職員から貴重なアドバイスをいただきました。それからは、完成にむけて改良作業が続きました。

10月12日(火)にはNHKの取材が、図書館1Fロビーで行われました。たった一人の記者がデジタルビデオカメラ一台で取材するのですが、いろいろと絵となる場面の注文が多く、結構大変です。

そして、いよいよ平成16年10月19日(日)にアイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2004の近畿地区大会が近畿大学記念会館で開催されました。ここ数年は、貸切の特大バスでロボットごと移動しています。結果ですが、Aチームは素早い妨害マシンとヘリコプタでボールを吊り上げ上空から得点するというマシンでしたが、フライングによる減点で初戦敗退してしまいました。Bチーム

は2台のメッセンジャーマシン間に網を張ってボールを絡めとって得点するというマシンでしたが、一回戦は対戦相手の反則で勝ち抜きましたが、二回戦ではマシントラブルにより敗退しました。このように残念な結果でしたが、機構の面白さを評価されて特別賞(マブチモータ)のクリスタルのトロフィーをいただきました。今年度は、あまりにも複雑な機構にこだわりすぎてタイムリミットを迎えてしまったというのが本音です。大会終了時には、選手らは大変落ち込んでいましたが、この反省を踏まえてきっと立ち直ってくれることでしょう。今後ともご声援をよろしくお願いいたします。

なお、図書館1Fロビーには展示スペースが設けられ、「拍手鶴采」が展示されています。本校にお寄りの際にはぜひご覧ください。



写真1 テストラン風景(Aチーム) 妨害マシン展開成功



写真2 一回戦(Bチーム)メッセンジャーマシン起動の瞬間